

授業科目名	アートキャリア英語	担当教員	寺田 卓矢
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年 第1クォーター		
講義内容	<p>アートマネジメントの現場で必要とされる英語の語彙や構文について、リーディングとライティングを中心に基礎から応用まで幅広く学ぶ。</p> <p>電子メール、契約書、請求書などで用いられる一般的なビジネス・マネジメント領域で必要とされる英語と文書形式のほか、劇場、美術館、フェスティバルなどの現場で用いられる語彙（役職名、機材名、文化政策やアートマネジメントに関する用語、批評で用いられる各芸術領域の専門用語など）を習得し、長文読解を行うとともに、自ら執筆することに取り組む。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマネジメントの現場に必要な英語の語彙を理解することができる。 ・基本的な電子メール、プレスリリース、SNSでの発信文等を作成することができる。 ・英語の申請書、契約書、広報物、批評などを読んで内容を理解することができる。 ・作品やパフォーマンスについて書く（批評、紹介、報告）ための多様な語彙や構文を身につけ、自分のアイデアを英語で簡潔に表現することができる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. ボキャブラリーとリーディング①：短文（電子メール、SNSなど） 3. ボキャブラリーとリーディング②：同 4. ボキャブラリーとリーディング③：同 5. ボキャブラリーとリーディング④：長文（広報物、批評など） 6. ボキャブラリーとリーディング⑤：同 7. ボキャブラリーとリーディング⑥：同 8. ボキャブラリーとリーディング⑦：専門性の高い文書（契約書など） 9. ライティング①：英語によるビジネス上のやり取り 10. ライティング②：同 11. ライティング③：英語による作品・パフォーマンスについての発信 12. ライティング④：同 		
事前・事後学習	各回の授業内で適宜指示する。		
テキスト	各回の授業内で資料を配布する。		

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・デイビッド・セイン (2018) 『デイビッド・セイン流なやまず書ける英文メール&SNS トレーニング』 河出書房新社 ・飯泉恵美子、佐藤涼子 (2025) 『英文契約書 実務に役立つ翻訳の技術と書き起こしのコツ』 イカロス出版
成績評価の基準	授業内の発言 (25%)、各回小レポート (75%)
履修上の注意 履修要件	特になし
実践的教育	該当しない。
備考欄	定員 50 名を超えた場合は、抽選を実施する。